

ホルネオ西海岸州鐵道の經營其の他に關する調査報告

第一章 統勢關係

第一節 鐵道の狀況

鐵道の位置、經過及延長

旧英領北ホルネオ州經營に係る本鐵道は北ホルネオ西海岸

に所在す。セルトン河の河口を起點として海岸線に沿つて

南下すること約四。哩にしてホングラフン驛附近より海岸線を

離れ約三。哩の間づゝ園中を南走してホーホート所に至り、此處より

更に二方面に岐れ、一は其の儘バグス河に併行して約四。哩東

方(上流)に走りて終點ソララソフに達し、一は汽船に依て連絡

し更に二。哩南下してホルネオ港に自する。是より新・結子鐵

道にして全延長一。一八。六哩(一八。六新・結子)

(1)

第六 區別營業線及開通年次

區	間	營業哩	開通年次
ホーホー	ト	五五	一九〇〇年
セツセ	ホーホー	五六	一九〇二年
ホーホー	ト	三〇	一九〇五年
チノム	ノラフ	一〇	一九一〇年
合	計	一〇六	

此の表は、各營業線の營業哩を比較し、開通年次を明瞭にするため、各線間の距離を、開通年次に比し、其の相違を、表に示す。

第七 鐵道沿線概況

一 各線間の營業哩の概況
 ホーホー、セツセ、チノム、ノラフ、ト、五五、五六、三〇、一〇、一〇六、一九〇〇年、一九〇二年、一九〇五年、一九一〇年、

(2)

面積を有し、存から人口は僅に三〇万足らずの稀薄状態にして、従て最も拓けたる鐵道沿線でさえ町並も格好を整えてあるものは僅にゼンセルトン、バパール、ホトホト、テノムの四位にして、他は驛附近に二三戸位の主として華僑商店を中心し、點々として土人家が散在してゐる位である。

(1) ゼンセルトン

北ホルネオ西海岸北緯約六度の位置に在り、天然の良港にして、棧橋まで鐵道引込線あり、沿岸航路定期船の寄港地にして、且ホルネオ唯一の鐵道起點でもある。

氣候比較的涼しく、マラリヤ等の熱病も少く、水道電氣の設備もあり、昔からホルネオの避暑地ともも謂れ、最も住み宜しき所と評せられる。

当町は人口三、三〇〇にして日本軍占領後は西海岸州(※)
廳の所在地となり政治経済文化の中心地にして諸官
廳の外病院、發電所等もあり地方物資の集散地として
将来性に富む。

(口) パパール町

パパール河の河口に位し又ゼンセルトンより汽車で約一
時間半位の地点に在り水陸の便に恵まれてある。附近一
帯良く用圪され鐵道沿線最大の水田地帯あり年向
約一万余俵の米を産する。

尚当町は郡廳所在地にして附近物資の集散地として發展
性に富み、特産品としては米、果物、サゴ、石鹼、陶器等あ
り。

(ハ)

ホーホー町

ゼツセルトン驛より五六哩を隔ててパダス河畔にあり、鐵道

は此処よりテム方面とウェストン方面の二つに分岐してゐる。

町は人口 三、一六八人にして地方物資の集散地である。

(ニ)

テム町

北ボルネオ奥地パダス河本流とアガラシ支流の合流する河畔に

て海拔約六〇呎の高地に在り人口 九四五人を有し郡廳、

電話局等もあり此附近文化の中心地である。尚此附近は

土地肥次にしてゴム、南京豆、コーヒー、タウモロコン、南京豆油

等の特産品あり列車に依つて各地に移出してゐる

(註)

パバルの人口は巨港大府区域のものしか判らぬので比較にな

らぬから省略したが町の形態としてはホーホーと大差はない。

(五)

(二) 鐵道沿線農園狀況調

昭和17年8月調

農園名	従来経営組織	経営者籍	資本金	主たる産品	面積	一年生産高	開園年	戦前使用人			現在員		農園内設備	休業月	現況	記事
								英人	書記	苦力	書記	苦力				
ロツカツ農園	合資会社	英人	170,000	ゴム	1815	390,000	1910	1	2	350	1	1	病院書店	昭和17-2	不作	専用側線有り
クワバハツ	"	"		"	532	132,000	"	1	1	700	1	0	"	17-2	"	
キナルト	"	"	200,000	"	1991	327,178	1916	1	3	250	2	1	"	16-12	"	"
メララツ	"	"		"	15,000	785,413	1906	2	3	300	1	2	"	17-5	"	
パパール	"	"		"	7,499		1910	1	2	297	1	0	"	16-12	"	
キマース	"	"	200,000	"	5752	2022,528	"	2	4	300	1	1	"	16-12	"	"
マワオ	"	"		"	1527		"	1	3	170	2	0	"	16-12	"	
ボンガツ	"	"	300,000	"	6,687	1,824,656	1912	4	13	780	1	0	病院書店777	17-1	"	"
マンダバ	"	"	100,000	"	2,100	335,703	1920	1	4	145	1	1	書店	17-1	"	
ルマツト	"	"		"	3,100		1918	0	1	113	1	0	病院書店	17-5	"	
メバユツ	"	"	85,000	"	3,000	600,000	1910	1	7	340	1	1	書店	17-3	"	
クバフツ	"	"	200,000	"	7,884	935,000	1906	3	1	300	1	3	病院書店	16-12	"	
サボン	"	"	150,000	"	21,000	1,565,000	1905	4	8	600	1	2	病院書店777	16-12	"	
ホーホト	"	"	50,000	"	3,188	328,000	1905	1	1	203	1	1	病院	17-2	"	"
リメコガツ	"	"	150,000	"	1,901	464,427	1910	2	2	198	1	0	" 書店	17-5	"	
ルマツ	"	"	400,000	"	3,075	1,192,328	1907	2	4	437	1	5	病院書店777	17-2	"	
パダスパ	"	"	110,000	"	3,000	417,200	1906	1	2	149	0	0	"	17-2	"	
クバツル	"	"		"												
合計			2,115,000		87,853	11,527,733 (5,249,4)		28	61	5,192	18	18				

(6)

(三) 池線道路及併行交通機関

鐵道沿線には若くは道路なしと謂ふ状態にして僅かにセツセル
 トン所よりタンジョンアル釋(鐵道工場敷に目下建設中の飛
 行場所在地)附近迄僅かに三哩の間補裝道路ありに過ぎず
 従て本鐵道は池線客貨の唯一の輸送機関たる使命を担
 ひ居ると共に一面池線土民の歩行路ともなつてゐる實情にあり
 (池線土民は鐵道線路の所謂大先を通行してゐる)

第二節 鐵道組織

第一職務分科並に指揮系統

